

申し上げます

あいさつ～



明けまして

おめでとーございませう

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。市民の皆様におかれましては、清々しい令和6年の新春を新たな気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、市政の運営に對しまして、格別のご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、長らく猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症について、感染法上の位置づけが5類となるなど、アフターコロナへの移行が進むことにより、日常生活においても以前のような活気が戻りつつあるように感じています。

そのような中、萩・石見空港の開港30周年、JR益田駅の開業100周年、そして柿本人麿公没後1300年と大きな節目を迎え、記念式典など様々なイベントが開催されました。

また、「歴史文化交流館(れきしーな)」や「宿泊交流センター(ぬくもりの里)」、さらには「地域活性化交流館」など、観光周遊や市民活動の重要な拠点となる施設も相次いでオープンいたしました。

これら地域の文化や魅力を様々な機会を通じて全国に発信していくことで、さらなる交流人口の拡大、地域の活性化につなげてまいりたいと考えています。

さて、現在本市におきましては、地球規模の発想と地域の実態に即した思考に基づき、持続可能な未来都市の実現を目指して取り組んでいるところであります。

例えば、世界中の自然の生態系および人類に深刻な影響を及ぼしている地球温暖化に対する取り組みとして、庁舎内の照明のLED化や、

太陽光パネルの設置、庁舎内における電力を100%再生可能エネルギーによる電力供給としたところ等です。令和6年におきましては、EV(電気自動車)シフトへの推進として、充電設備を市内の公共施設や民間施設に設置することとし、引き続きCO2削減に向け取り組んでまいります。

また、デジタル技術を使い市民サービスをよりよくするDX(デジタル・トランスフォーメーション)につ

きましても、死亡に関する手続きを1カ所で受付ける「おくやみ手続きサポートサービス」の運用を開始いたしました。本年におきましても、「書かない窓口」や「オンライン化」を進めるなど、市民の皆様の利便性をさらに高めるとともに、行政手続きの効率化を推進してまいります。

あわせて、第6次益田市総合振興計画において設定しています本市の地域課題を踏まえた「益田市版SDGs」の17の目標の達成を目指し、「誰一人取り残さない」まちづくりを進めてまいります。

本年は、萩・石見空港東京線2往復運航が、令和7年3月以降も継続されるかどうかが方向づけられる重要な年となります。関係機関と連携し、更なる利用促進に取り組んでまいります。

これからも本市の目指す将来像「ひとが育ち輝くまち 益田」の実現に向け、市民の皆様と共に歩みを進めてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとって健康で幸せな年となりますことを心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



益田市長

山本 浩章

謹んで

新春のご祝詞を
申し上げます



市民の皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

市長 山本 浩章
ほか 職員一同

議長 福原 宗男

副議長 中島 賢治

議員 須藤 一二三

同 豊田 浩

同 永戸 明美

初春のお慶びを

～新年のご



謹賀新年

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた令和6年の新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より市議会の活動並びに市政各般にわたり、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、益田市議会議員選挙が行われました。投票率は令和元年の65.06%を下回る58.86%であり、これまで議会報告会や主催者教育支援などに取り組んでまいりましたが、市民の皆様方の身近な議会となるためのさらなる取組を進めていく必要があると感じました。また、議員定数が22名から20名となり、新たな体制での議会が始まりました。これまで以上に議員一人ひとりが力を発揮する必要があると感じており、議員全員の共通意識として取組を進めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の位置づけが5類となり、さまざまな活動がコロナ前に戻りつつあります。しかし一方で、世界では、ロシアによるウクライナへの侵攻や、イスラエルとパレスチナの対立により、生まれたばかりの乳児を含む多くの人の命が奪われているというニュースが連日放送され、平和の大切さを今一度考える必要性があると強く感じました。

また、経済に目を向けると、原油価格や物価の高騰などが影響し、コロナ禍で落ち込んだ経済はいまだ回復していない状況です。こ

うした影響を少しでも緩和するために本市といたしましても、議会と執行部が一体となって、さまざまな取組を進めてまいりました。本年も引き続き、市民生活や経済活動が回復するよう取組を一層進め、市民の皆様が平和で安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

本年は、萩・石見空港東京線2往復運航が、令和7年3月以降も継続されるかどうか方が向づけられる重要な年となります。萩・石見空港は本市にとって欠くことのできない交通インフラであり、市議会といたしましても、引き続き、萩・石見空港対策特別委員会を設置し、企業誘致をはじめとする空港を活かしたまちづくりなどに向けた調査研究を進めてまいります。

また、地球温暖化に対する取組やデジタル技術を活用した市民サービス向上への取組、益田市版SDGsの目標達成を目指し「誰一人取り残さない」まちづくりへの取組など執行部と一体となって、市民の皆様がこのまちに住んで良かったと思えるまちづくりを目指してまいります。

今後とも、市民の皆様にご指導・ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



益田市議会議長

福原 宗男

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
阿知波	平原	齋藤	河本	高橋	弥重	大賀	河野	安達	中島	林	大久保	寺井	佐々木	久保
武雄	祐一	勝廣	亮	伴典	節子	満成	利文	美津子	守	卓雄	五郎	良徳	恵二	正典